

学校法人東京芸術学園
音響芸術専門学校

令和3年度

学校関係者評価報告書

【学校関係者評価委員】

池田 実

日本大学法学部教授

高橋 宏幸

PA エンジニア、音響デザイナー、(同)SR テック・プランニング代表

巻島 英司

広告会社 クリエイティブディレクター、CMプランナー

森崎 雅人

マスタリングエンジニア、Tiny Voice,Production チーフエンジニア

【実施概要】

2022年6月 メール送付によるアンケートに基づく個別意見聴取
(5段階評価による平均値および、各委員からの意見等)

学校法人東京芸術学園 音響芸術専門学校 学校関係者評価アンケート結果

各設問について以下の5段階で回答。平均値を記載。

そう思う・・・	5	・	4	・	3	・	2	・	1	・・・	そう思わない
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	--------

1. 教育理念・目的・育成人材像等について

【1-1】理念・目的・育成人材像は定められているか。 評価 4.75

【1-2】学校の特色について

(1) 少人数制の「顔の見える教育」は実施されているか。 評価 5

(2) 在校生の目的意識が高く、その学習に対する姿勢は概して「まじめ」である。 評価 4

(2) 音響技術専門課程においては、「ソフト&ハードのバランス教育」が標榜されており、うわべの現象やオペレート方法のみを教えるのではなく、多少遠回りでも、原理をしっかりと理解させる努力を怠らない。

評価 4.5

(4) 各実習設備は小規模でも、一人あたりの機材が充実しており、稼働率が高い。 評価 4

【1-3】学校の将来構想を抱いているか。 評価 4

2. 学校運営について

【2-1】運営方針は定められているか。 評価 4.75

【2-2】事業計画は定められているか。 評価 4.75

【2-3】運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか。 評価 4.5

【2-4】人事や賃金での処遇に関する制度は確立されているか。 評価 4.25

【2-5】意思決定システムは確立されているか。 評価 4.75

【2-6】情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 評価 4.25

3. 教育活動について

【3-1】各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。

評価 4.5

【3-2】各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズに照らして、また学科の教育機関を勘案して、達成することが可能なレベルとして明確に定められているか。

評価 4.25

【3-3】カリキュラムは体系的に編成されているか。

評価 4.75

【3-4】学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。

評価 4

【3-5】授業評価の実施・評価体系はあるか。

評価 3.75

【3-6】育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。

評価 4.25

【3-7】成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。

評価 4.25

【3-17】資格取得の指導体制はあるか。

評価 4.25

4. 教育成果について

【4-1】就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか。

評価 4.5

【4-2】資格取得率の向上が図られているか。

評価 4

【4-3】退学率の低減が図られているか。

評価 4

【4-4】卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。

評価 4.5

5. 学生支援について

- 【5-1】就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか。 評価 4
- 【5-2】学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか。 評価 4
- 【5-3】学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか。 評価 4
- 【5-4】学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか。 評価 4
- 【5-5】課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか。 評価 4.5
- 【5-6】学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 評価 3.5
- 【5-2】保護者と適切に連携しているか。 評価 4
- 【5-2】卒業生への支援体制はあるか。 評価 3.75

6. 教育環境について

- 【6-1】施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 評価 4
- 【6-2】学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 評価 4
- 【6-30】防災に対する体制は整備されているか。 評価 4

0

7. 学生募集と受け入れについて

- 【7-33】学生募集活動は適正に行われているか。 評価 4.5
- 【7-34】学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 評価 4.5

【7-35】入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか。	評価 <u>4.25</u>
【7-36】学納金は妥当なものとなっているか。	評価 <u>4.5</u>
8. 財務について	
【8-1】中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	評価 <u>4</u>
【8-2】予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	評価 <u>4.5</u>
【8-3】財務について会計監査が適正に行われているか。	評価 <u>4.75</u>
【8-4】財務情報公開の体制整備はできているか。	評価 <u>4.25</u>
9. 法令等の順守について	
【9-1】法令、設置基準等の順守と適正な運営がなされているか。	評価 <u>4.75</u>
【9-2】個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。	評価 <u>4.75</u>
【9-3】自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	評価 <u>4</u>
【9-4】自己点検・自己評価結果を公表しているか。	評価 <u>4</u>
10. 社会貢献について	
【10-1】学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。	評価 <u>4</u>
【10-2】学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	評価 <u>4</u>

意見・今後の改善点等

少子化、業界の求人ニーズの変化など、環境としては厳しい状況が続く中、開校後約半世紀に渡り地道な教育と経営を続け、就職ではコンスタントに実績を残せているのは素晴らしいと思う。

マンモス校には実現が難しい少人数制による丁寧な教育指導が当校の最大の特長だが、これを維持発展させていく基盤となる最低限の学生数確保を、いかに広告コストを抑えた中で実現するかが、今後一層加速化する少子化の中で最大の課題となろう。

(3年制学科があるとはいえ)専門学校の2年間という短い就学期間を考えると、大学でのゼミのような、興味を持った内容を深掘り出来る環境を現在以上に整備してあげることが考えたい。AES (Audio Engineering Society)のメンバーたちは活発な研究活動や、授業外の創作活動に励んでいるが、AES 非会員向けにもそうした場をもっと持たせたい。

特に制作職においては、excel、word、Powerpoint が必須(使えると有利)という採用条件の現場が多いし、技術職のエンジニアにも、最低限のスキルは求められる。Protools を始め、Live や Nuendo などの DAW (Digital Audio Workstation) ソフトを使う現場が多い昨今、校内だけでなく、自宅でもそれらに慣れ親しむ必要性が高まっている。このような現状に鑑み、今年の1年生が、どの程度PCの重要性を理解し、各自で導入をしているかを見極め、来年度以降は、入学条件としてPC及びofficeソフトの所有を必須という事にしていただけたらと思う。

学生さんが年々大人しくなっている印象。講師と学生の言葉のキャッチボールが難しくなっている。世代の違いかもしれないが、少しでも改善できる方策を探っていきたい。